

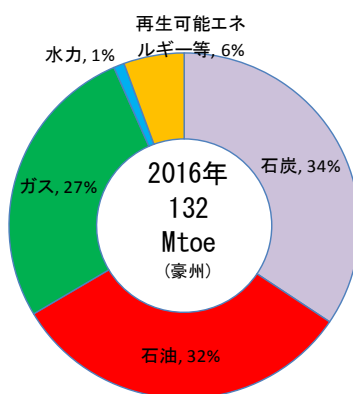
1-16 オーストラリア

1. サマリー

1. エネルギー事情

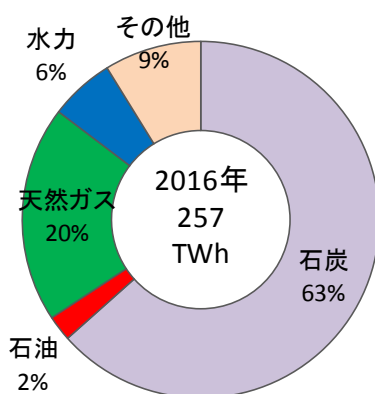
- (1) 一次エネルギー供給量 (2016年) : 132 百万 toe (日本の 0.31 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2016年) : 5.43toe(日本の 1.62 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2016年) : 298%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 380.9 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 33.4%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 15.80 CO₂ 換算 ton(日本の 175.6%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016年末) : 原油 30.3 年、天然ガス 38.1 年、石炭 294 年

一次エネルギー供給構成 (2016年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2016年)



Country: Australia

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 豪州のエネルギー・資源政策の基本方針は、国家の重要方針を協議する Council of Australian Governments (COAG、構成員は連邦首相及び各州首相) と COAG の下にある Standing Council on Energy and Resources (SCER、構成員は連邦及び各州と NZ の関係大臣) により策定される。具体的な政策 (エネルギー・環境産業に係る政策立案、法制度の管理等) は、Department of Environment and Energy が担当している。大臣は Finn Pratt (2017 年 12 月時点)。

(2) 基本政策

- 政府は 2015 年 4 月、エネルギー部門のロードマップ「エネルギー白書 2015 (Energy White Paper 2015)」を発表した。「エネルギー白書 2015」では、①市場競争を積極的に導入することで、電力やガス価格を引き下げ、②エネルギー生産効率を高めるとともに、③エネルギー資源への投資を拡大して日本やアジア地域への輸出を増大することなどが目標に掲げられている。

(3) 最近の動向

- 2017 年 10 月、連邦政府は、環境政策「クリーン・エネルギー・ターゲット (CET)」に代わる新たな政策として、「ナショナル・エネルギー・ギャランティー (NEG)」を採用すると発表した。NEG は、連邦政府が電力小売企業に対し、全調達電力のうち一定割合を石炭・ガス火力発電所、水力発電所、蓄電施設などの安定した電源由来とするよう強制し、電力供給の安定を図るのを目的としたもの。また、再生可能エネルギー事業への補助金廃止なども盛り込まれた。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- オーストラリアは日本へのエネルギー・鉱物資源の最大の供給国。両国は資源・エネルギー分野において、補完性の高い関係を共有している。再生可能エネルギーやクリーンコール技術の開発で緊密に協業しているほか、褐炭を用いて水素を製造し、日本へ輸送する実証プロジェクトが、両国の官民の連携により進められている。
- 民間レベルにおいても、日本のエネルギー関連企業・商社等が多数、豪州での上流資源開発に積極的に参入している。
- 2017 年 10 月、三菱商事、日本郵船、JERA、石油天然ガス・金属鉱物資源機構が参画している豪州 Wheatstone LNG プロジェクトの生産が開始された。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Australia

(2016年)

(1) 一次エネルギー供給量		132 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		5.43 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.09 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		298 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量 (2015年)		380.9 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量 (2015年)		15.80 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	34 %
	石油	32 %
	天然ガス	27 %
	原子力	0 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	6 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-198 %
(9) 石油の輸入依存度		58 %
(10) 輸入原油の中東依存度		18.3 %
(11) 原油の輸入先	第1位	マレーシア
	第2位	UAE
	第3位	インドネシア

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2017, IEA